

杉田地区連合町内会

自由記載欄

問4 最近気になること、心配なこと

50歳代	カラスの被害、増加、生ゴミの捨て方
50歳代	ごみの散乱
60歳代	バイクに乗っての「ひったくり」について
60歳代	地区センターでスポーツに参加したくても新しい人を受け入れない。
60歳代	歩行喫煙で吸い殻が道に目立つ！（以前より少なくなっていると思いますが、まだ気になります）若者が食べ物の空袋を道に捨てる。
50歳代	決められたゴミ収集所へゴミを出さない人、ゴミを出しても掃除をしない人
70歳代	高齢の人の一人暮らし
40歳代	地域に無関心すぎる人が多く非協力的であるのに、困った時だけ自治会や地域に過剰に求めてくる。
40歳代	ゴミ捨てについて
50歳代	中高年男性が地域の中で関われる機会や情報を提供してほしい。
70歳代	地域社会の安定が、人間関係、地域の安定になる。（住み良い地域づくり）
60歳代	杉田の平地に住む私は、杉田の山から降りてきて自転車を置いていく人々のことが困ったことだと思っています。
70歳代	磯子スポーツセンターは高いので、地区センターでしたいと思うが、新しい人は受け入れてもらえない。
50歳代	ゴミの分別回収の意識のなさに憤りを感じています。
70歳代	周りの人の悪影響を気にしないで喫煙している人達の行動。 →全面禁煙のすすめがなまぬるい。横浜市全滅していて。
60歳代	地域の活性化
50歳代	孫が出来たら十分に保育園があるのか。安心して共働きができるのかどうか。
50歳代	ひったくり、幼児虐待など
50歳代	一人暮らしの人が増えていますので。
70歳代	独身者の自治会・町内会未加入問題
60歳代	高齢者二人の世帯が増加している地域ですが、一人暮らしの方と違って、民生委員としてなかなか関わりが持てない事が心配です。
70歳代	ゴミの収集場所を増やしたいが（一ヶ所に30件は多すぎる）自分の所は〇〇が多い。
70歳代	犬の散歩者の激増
70歳代	下校時の低学年、道路をふざけ乍ら帰る子、危ないからと注意をしてしまいます。
70歳代	長い事住人のいない空家があり、外側等壊れた板なので火災が心配。道路沿いなのでタバコ火、草も多く茂っている。
60歳代	歩道を何の躊躇もなく走る自転車。人間専用の歩道が欲しい。
70歳代	災害時の避難について考えると、とても心配です
70歳代	ゴミの出し方、アミの中に入れずカラスがちらかす。
70歳代	子供を安心して外に出せない。ログハウスを地域にもっと沢山作って欲しい。
60歳代	夜道の暗い、街灯など増して欲しい
30歳代	近隣との横のつながりの少なさ（特に世代が違う世帯との交流の減少）
50歳代	地域活動への協力をしてもらうには？
50歳代	犬猫のフン、公園での犬のはなし
70歳代	個人規範のゴリ押し、俺様意識での発言に難儀
70歳代	雪が多くて、水道が断水した時、はずれの方はなかなか給水車がこなくて対応が遅く、来てもみんなに来た事が伝わらなく、まったく知らないで過ごした。
50歳代	杉田連合町内会長が作為的で苦々しく思っている。鈴木伊三男である。
60歳代	事件発生に対し、近隣への説明、情報の伝達が不明である。
70歳代	ごみ置き場のマナー、缶ビンのポイ捨て
70歳代	メール・ド磯子自治会に住むが小型バスが通る様になり、通路ぎわに住む者はベランダの黒い汚れが家の廊下まで汚れるようになった転居しなくてはと健康状態（呼吸器）に不安が出てきた。
60歳代	地域の行事・お世話係に協力する方の高齢が気になる
50歳代	ゴミ問題、マナーの守る人、守らない人
70歳代	私的な事ですが、ゴミの集積場所が遠い

70歳代	横浜みどり税については基本的に反対です。近隣の小高い山の森が次々と伐採され住宅へと変わっております。先ず開発を抑制すべきです。森林を購入する事は資本家を肥やします。まだ「みどり」の保存という耳に聞こえの言葉を使い、官僚の増員・人件費の増加に繋がります。
50歳代	近くに低料金の老人医療施設病院がない。学童保育施設がどこもかしこも老朽化していること。
60歳代	「いざという時に備えて」市や区はそれなりに施策、広報活動と手を打っているが「町の防災組織」「地域防災拠点の運営には懸念をもつ」あまり(多分に)出会わない、そう思わないが良い人の方がずっと多い。
60歳代	夜間の街灯の不備、住宅街の車の増加(通り抜けが多い)
60歳代	ごみの収集場所に常時違反ごみがある。
70歳代	相互助け合いの気持ちが荒れてきた。
40歳代	・ のら猫の被害、及びカラスの被害。 ・ ごみ出しのマナー違反
50歳代	となりにひっこして来たのにあいさつもなく、未だに「おはよう、こんにちは」のこえかけもない。
50歳代	特に新杉田駅は、各線の乗り換駅として大変混雑状態のため歩行道路の工夫が必要。
70歳代	“ゴミ出しのルールを守らない人が多い”

問5 自身のことで、困っていることや手助けがほしいこと

60歳代	今の所、上記内容では困っていません。
60歳代	粗大ゴミに家具など出したくても集配場所まで持ち出せません。業者に依頼するとけっこう高い費用がかかるようです。
50歳代	将来に対して不安
70歳代	まだ該当者ではないので。
70歳代	自分が病気になったとき手伝ってほしい。
50歳代	地域の福祉活動情報や施設管理等の情報があれば、男性(中高年)の活躍の場が広がると思うので、地域の活性化にも繋がります。
70歳代	今の所、夫婦二人の生活なので困っていることはあまりないです。
60歳代	ゴミの収集場所に網をきちっと掛けてほしいです。
60歳代	2人夫婦障害がある者同士、災害時の事が心配。誰に助けを求めたらいいのか、ふだんの生活は週2回ヘルパーさんをお願いしている。
70歳代	現在のところなし
50歳代	地域社会への無関心
60歳代	道路(16号線に出るまで不便)
70歳代	幸いにして今のところありません。
70歳代	困っている事は現在なし
70歳代	今現在は特になし
70歳代	今は息子の世話で毎日を頑張っています。来年に80歳を迎えます。どれだけ現役で、頭がしっかり日常生活が出来るのか、ふと考える事がありますが。
70歳代	病気になった時の不安
40歳代	子どもの夕方は学童やはまっこがあるが、朝は子どもが一人で鍵をかけて出てくる事になる。早朝の何か預けるサービスを学校等であると助かる。少子化にも働くお母さんにも助かると思う。
60歳代	家庭、家族の再構築が先では?家族間で出来る事です。
70歳代	今は特になし
70歳代	現在は人の手助けなしで頑張っていますが、いつ迄出来るものやら。
70歳代	現在は困っていることはない。将来全て当てはまる時が来ると思う。
60歳代	まだ自分自身は大丈夫です
70歳代	まだまだ元気です
20歳代	まだ手助けを必要としていない。自治会長として全般を見通している。
30歳代	町内会等公事の負担を減らして欲しい。
70歳代	二階に長女の家族、隣接地に長男の家があるので。
60歳代	75歳の主人H2から糖尿病です。17回入院、目、耳、足衰えてきています。杖をつけて妻に腕をくまれて1週間に1度通院しています。私が元気なので主人は喜んでると思います。頑張ります。

70歳代	入浴の介助、洗髪：2年間程、整形外科にかよったがつくづく自由に動ける身が大切だと思った。
70歳代	手助けが必要な状態又は苦情が気軽にお願い出来る場所があったならいいでしょうね。
60歳代	逆に手助け出来ればと思っています。
50歳代	しっかりした歩道がなく、車を気にしながら歩かなければならないのに、道路にはみ出している大きな実のなる木・虫など頭上を注意しつつ車に注意しなければならない。各家庭の庭木の管理の徹底を!!もう少し強めの広報を!!個人的にはチョット…ご近所トラブルは…。
60歳代	地域の活動に目を向ければ身が持たない程ある。区民の積極的な参加をどうすれば得られるか知恵がない。知恵を出しても成果に結びつかない。やはり自治会、町内会の役割は大きいかもしれませんね。自治会、町内会の役割が出发点でありゴールでもあるかもしれませんね。
50歳代	子供に助けてもらっているので特になし。
50歳代	ゴミ問題。マナーの守る人、守らない人。
50歳代	たばこの道路喫煙。
50歳代	町内会に協力してほしい(企業の協力、歳末たすけあい募金の協力等)
50歳代	不審者パトロールなど。
60歳代	退職後の社会参加(特に就業の機会)が困難。

問6 地域に困っている人がいた時、協力できること

50歳代	育児相談
50歳代	趣味を活かす
60歳代	まだ勤めているので今はあまり出来ませんが、いずれ出来る事はやりたい、お手伝いしたいです。
50歳代	小学校で先生が教室の児童全員に手がまわらない時の手伝い。
60歳代	自治会として「支えあい活動隊」をつくり活動しています。
60歳代	環境審査員をしていますので、その方面のお手伝いなら出来ます。
60歳代	ゆるんだネジの締付け。自分の能力の範囲内の事。
70歳代	プライバシーに深くかかわる事はさげたいし、さけてもらいたい。
70歳代	自身の事をやるだけで手一杯です。
50歳代	インターネットなどによる情報収集
20歳代	地域全体の住条件、住環境の維持。発展に心掛けている。
50歳代	現役で働いているので、なかなか時間がとれない。
60歳代	近所の庭木の剪定(主人と一緒に)
60歳代	自治会、町内会の防災訓練の指導・自治会・町内会備蓄庫の整理。良心・充実に向けた働きかけ。
50歳代	地域内ではないが在宅サービスを週に2日間実施、地域内で時間があれば協力できる地域町内館で高齢者を対象に歌によるコミュニケーションがとれるように歌活動を実施している。
40歳代	子どもが小さいので今はできないが、手はなれたらできるかもしれないと思う。
70歳代	1, 2ならできるが、3, 4, 7, 8, 9, 10はやってほしい。
60歳代	まだ仕事をしているので、それだけで一杯の状態です。

問7 参加してみたい地域活動

50歳代	地域〇〇センターを含む高齢者施設管理や営繕の業務。
70歳代	5町会合同盆踊り大会。
60歳代	登校時の子どもに目配り。
50歳代	働いていて土日にも出勤することが多いので、時間がとれない。
60歳代	G30応援隊。
50歳代	会報の配布。
70歳代	参加してみたい思いはありますが、自分自身が前期高齢者でありながらフルタイムで仕事をしているため、現在は無理です。

問8 地域活動に参加したきっかけ

70歳代	地域に問題が発生したため
50歳代	民生委員（主任児童員）
50歳代	青少年指導員
50歳代	将来地域に還元できると考え、各種講習会や資格取得に取り組んでいる。
60歳代	ここ数年は主人に参加してもらったが、病院に通う回数が増えたので私が代わることになった。
50歳代	自治会の役員に誘われて
50歳代	自分で発案して
60歳代	自治会役員の順番が回ってきた時に、民生委員に推薦された。
60歳代	自治会の役員が回ってきたため
70歳代	定年後望まれて町内会となり、以来現在は老人会の会長
60歳代	自治会から話がありました。
40歳代	子ども会の役員を1回したら、いろいろなつながりが出来て、その後役員をやめても手伝うようになった。
60歳代	町内会の回覧板
50歳代	町内会の役員になったので
70歳代	きっかけということであれば、いつのまにか地域活動に参加していた。
60歳代	順番で自治会の役員にならざるを得なかった為
50歳代	昔から住んでいるので、参加は当然だと思っている。
60歳代	町内会役員になったため
50歳代	介護の仕事をした事から
30歳代	自治会の役員当番がまわってきて、自治会の行事を手伝ううちに地域活動に興味を持ち積極的に参加するようになった。
60歳代	民生・児童委員を担当したのが出発点。やはり何かのきっかけですがきっかけがなかなかないのでは。
50歳代	たのまれた。「やって」と。
50歳代	子供の就学と同時に子ども会に参加した。

問9 地域活動に参加又は継続するために必要な条件

70歳代	先ず自分が好きで（地域活動が）あること。活動してみて楽しいと思えること。長く続けてみることに。
60歳代	心身共に健康であること。
50歳代	広報が重要だから、広報よこはま、区版だけでは不足。何をするにも広報が大切。
70歳代	自分の健康状態を維持することが第一。
60歳代	「励ましてくれる人」「感謝してくれる人」「助けてくれる人」「認めてくれる人」「支え合いあつての地域活動の継続」「行政・社協の協力」「連携」が長続きするのは。自主活動といっても行政・社協のフォロー、つなぎ役は必要である。グループ・団体の中でも出来る事を出来る人がやる精神が良い。
50歳代	近くで行われる。

問10 あなたの町で自慢できること

60歳代	花壇が花一杯できれい
50歳代	商店街に活気がある
30歳代	ごみの出し方が良い
50歳代	小さい町だがサークル活動活発である。
50歳代	交通の便が良い、物価が安い。
60歳代	交通網の充実
60歳代	残念ながら磯子区森には自慢のタネはありません。
50歳代	物価が安い。
30歳代	最近引っ越してきたのでわかりません。
60歳代	良く云えば全戸が恵まれた環境下にある（経済・住居）従ってあまり自治会・町内会その他全体的に関心が薄いのは残念。
60歳代	小公園に隣接しているのでウォーキングに良い。
40歳代	防犯意識がたかいと思う。

問 1 1 知っている団体及び名称

60歳代	公園愛護会
70歳代	家庭防災員
50歳代	明るい選挙推進委員
60歳代	スイッチON機子、家庭防災員
60歳代	自治会
50歳代	町内会の班長
50歳代	地域防災会議
60歳代	〇〇小パトロール隊
50歳代	消費生活推進員
70歳代	消費生活推進員
60歳代	1から9まで全て、ただ単に知っているだけです。
70歳代	民生委員で何をやるの？活動がわからない。
60歳代	消費生活推進委員、学童クラブ、保護士。
50歳代	ボランティアグループすぎな。
50歳代	家庭防災員

問 1 2 地域情報の入手手段

70歳代	行政より
40歳代	職場
20歳代	新聞
50歳代	班長をやっているが、チョコチョコ回覧板がまわってくるのが面倒。月あたり3回など制限して欲しい。
60歳代	高齢化が進み、出歩き易いように、ちょこっと荷物を置く。すわって休める場所があるといい。
60歳代	広報・いそご・区役所、社協のPR箱(チラシ・パンフ)
60歳代	自治会の会合。

問 1 4 「誰もが幸せにくらせるまち」づくりを達成するために、どのようなことに取り組んでいくことが必要か。

60歳代	高齢者が多くなってきましたので、高齢者が住みやすい、生活しやすい町作り、助けあえる仲間作り
60歳代	少しずつでも構わないので目に見えてまちが良くなっていくことが分かるような活動
50歳代	近隣同士が声をかけ合う
50歳代	坂道や複雑な地形が多く、お年寄りの方には暮らしにくいところもあると思います。が、お手伝いの声かけをしても、浅いおつきあいでは先方も頼みにくいし、信頼関係ありません。なんとかならないもののでしょうか。
70歳代	隣近所の声の掛け合い。
50歳代	前年度、私たちの町では災害時に近所の方への支え合い協力者カードが配布されました。「あなたの担当の方」は〇〇さんです」と指名され、とまどってしまいました。一応アンケートは廻ってきました、協力に〇をしました。その方だけの(家庭の中プライバシーなど)をどこまで入っていったのか？を感じました
30歳代	保育園を増やし、子供を預ける希望がある家族はみんな問題ない。システム作り！
50歳代	ゴミの出し方、外国人の方、やはりマナーができていない。わからなければ聞く、くわしく何でも聞ける場所、子供の遊び場所をふやす、公園で遊んでいる姿をみるとほっとします。安心な街なのかなと。
70歳代	自らより困っている人があったら手助けしても良いと思っているが、チャンスがない
30歳代	地域住民が皆で楽しめる機会をもっと作ること。
60歳代	高齢者がもっと住み良くする町づくりの為に、ボランティアの応募(あらゆる活動)の宣伝をもっと多くする。

60歳代	これからの時代高齢で一人暮らしの方がもっと多くなっていくので孤独死に気をつけていくことが大切なことと思います。 先日テレビの番組で団地に住んでいての孤独死を扱っていましたが、数ヶ月もわからずにいた方がけっこう多いことを知りました。 気にされることで人によってはうっとうしく思われる方もいるので、一人一人に対応していけるといいですね。
50歳代	磯子～～計画という名前が固すぎる。
50歳代	各年代層における問題点を徹底研究し、その部分を改善していく中で、自分達が取り組めそうなテーマを割り出していく。前向きに考えようと思いましたが、この不況、リストラ、年金、政治不信など、子育て中の若者の老後のみんなの生活レベルが、ある程度安定していることが前提でなければ、このテーマを遂行していくことはとても難しいと思いました。「幸せ」とてもいい言葉ですが、定義（規定）することは大変。（何ををもって幸せとするのか）、そして私にはとても提案まで到達することは出来ませんが、単純に考えれば「年齢を超えたみんなの交流会」
50歳代	学校の施設（教室やグラウンド）の解放。例えば、学校の音楽室などを解放し地域でピアノなど出来る人を講師にして音楽会を開くとか、子供達を対象としたピアノ教室などができるようにする。
70歳代	まちの中がもっとオープンな状態で話し合い、或いは相談が出来ればもう少し積極的な行動が可能と判断するが、他人情報の守秘義務が障害になっていないか、一方個人的には、どう関心を持たせるかが課題だと思う。
60歳代	老人が安心して歩ける道路づくり
70歳代	内容が詳しく分からないので、特に意見等はありません。
40歳代	年配の方も若者も自分勝手に、相手を思う気持ち、困っている人を助けようという気持ちがなく、すぐに面倒くさいと言い人や地域に関わりを持たないようにしている気がします。それでは「誰もが幸せに暮らせるまち」どころか幸せにもなれないと思います。
40歳代	清掃が大事だと思います。きれいにしていれば犯罪は減るし、子供たちの安全を守れる。皆が気持ちよく暮らせる。
30歳代	老世帯も心を開き、お互い様の心をみんなが持つこと。
70歳代	講演会を計画したり、集いを持ったりして誰でも気軽に参加でき、誰とでも話せるような町づくりが出来たら良いと思っています。
50歳代	隣近所でいつも声を掛け合える様な付き合いをしていく。
70歳代	これから高齢の仲間に入っていきます。なるべく町内会の行事に出席し、一人でいないでお話したり、お茶をして楽しい一日を過ごせる様に努力したいと思っています。
50歳代	各班毎でも1人暮らしの高齢者家庭への安心な声掛け（心遣い）を近隣から始めていけば安全なまちづくりにつながるのではないかと。
30歳代	地域の交流
50歳代	まず、隣近所とのコミュニケーションが大切。自治会員もだんだん高齢化が進んでくるので近くでの親睦会や講習会（楽しめるもの）が自分達の自治会内であると良い。
60歳代	隣のアパートの住人がすぐ入れ替わるので、挨拶することが少なく、お天気の話を話すのが精一杯である。
30歳代	最近、空き巣やひったくりがするようです。 声かけや防犯灯、パトロールの強化。
60歳代	人間味を失わない町づくりのためにも、これ以上のアパート、ミニマンションの建築を規制。また、古い町並みを大事にするため、田末商店街の再開発はしない方がよいと思う。
50歳代	隣のお宅が、お年寄りの一人暮らしの方ですので、朝夕の雨戸や戸の開け閉めがあるか、気にかける様になっています。
50歳代	仕事を持っていらっしゃる方のお子さんを留守（母親か父親）などの時に預かって（お宅に伺っても良いです）あげられたらと思っています。保育士の資格はありませんが、二人の子供を育てたと云う体験はあるので、何かお役に立てたらと考えています。
50歳代	一人ひとりが思いやりの心を持つことが大切だと思います
70歳代	50才から働いて居りますので色々な事業始めて知りました。皆さんが楽しそうにしてる意味が理解できました！

70歳代	広報磯子区版がカラーずりの割に大変見づらくなっています。改善して下さい。広報内容がバラバラでアピール力に欠けます。「健康づくり」「知識・教養づくり」「家庭住まいづくり」などと大分類にしては。時・場所がはっきり判るよう一覧表にするなど工夫して下さい。
50歳代	住民1人ひとりが、我が町として意識して行動するように啓発しなければ、どんどん地域社会のコミュニケーションがなくなり、乾いて荒れた町になってしまうと思います。一部の人のみが地域活動を支えてくれている状態ですね。
60歳代	家庭と学校での教育に問題がある様に思えてなりません。勉学も必要ですが、その前に人間形成（人を思いやる心、やさしさ等）を大切にしてほしいと思います。
60歳代	一人暮らしの高齢者に声掛けを月何回か位でしたら出来そうです。
50歳代	私を含めて、これから10年後20年後はますます老人が多くなると思いますので、福祉関係は大変になると思います。地域での助け合いが1番大切になるのではと思っています。
20歳代	近所の人との挨拶から始める。
60歳代	高齢者の一人暮らしの方に声かけし、少しでも元気になれる様に手助けできればと思う。近所には体の不自由な方はいらっしゃらないが、そういう人にも手助けが出来れば嬉しい。
50歳代	自分の家族の事だけでなく、まわりの人々の事に関心を持つ。
50歳代	自分が居住している周りを少しでもわかりたいと思います。
50歳代	声掛けやパトロールなどを強化し、町の人が家族になれるような思いやりを持ちたい。
60歳代	ご近所同士の挨拶が必要です。声を掛け合う事が第一です。子供でも大人でも。
70歳代	地域密着が必要である。近くで行われるイベント参加者を増やすことを考える。
70歳代	1ヶ月に1~2回の会合
50歳代	・お年寄りの家の庭木の伸びたのを切ってあげる（防犯上&明るい陽の取り込み等） ・毎月1日は道路のお掃除デー（勤めているお宅、お年寄りの家の前はボランティア精神で町をきれいに！）
30歳代	ゴミ置き場がカラスに荒らされている。カラスネットやBOXの徹底。夜間に出す人が多い地域はBOXにすればいいと思う。
60歳代	高齢者に対する色々な行事や活動は、かなり多い様に見受けられる一方、小学生、中学生向の活動が少ない気がします。年齢的に参加が難しいのかもしれませんが、何か良い考えがあればと思っています。
70歳代	合意形成を基調に老人会、子供会、町内会の連携を強化して、行政との分担を明確にスピードアップで町民に対応する事。又、委嘱委員が町内会と情報共有化で事柄を解決、改善する体制構築する。
60歳代	私達の自治会も高齢化が進んでいる地域ですが、男性を中心に防犯隊やおたすけ隊が来ています。おかげで、今のところ空き巣や盗難が一件もありません。体が元気なうちは1人になっても安心して暮らしていけるよう、助け合っていきたいと思っています。
30歳代	・地域防犯パトロールの強化（もっと一人ひとりが自覚をもってパトロール等に参加してほしい） ・近隣同士の付き合いを大切にする。
60歳代	年々高齢化が進む中で、特にお年寄りが安心して生活出来る環境づくり。
70歳代	子供達が遊んでいる時、危険がない様に声をかける。
30歳代	町内会でもお年寄りが増えてきていて、なかなか行事に参加出来ない方もいる。障害者や高齢者にやさしい町づくりができると良いと思う。（ボランティアを増やす等）
60歳代	隣近所との密接な付き合い
40歳代	自治会活動に積極的に参加する事が大切だと思う。
70歳代	隣近所の情報交換、助け合いが最も必要であり、役所のPR（講演会等）が重要。
50歳代	健康診断や予防、医療機関を無償化（経済的負担）をなくす方向に、区や国が具体的対策を進めてほしい。現状では、赤ちゃんからお年寄りまで病気したら家族崩壊にまで至り、不幸になる事が多い。
60歳代	若い人の心を地域に向けさせる事が大事。ブログ等を通じた地域発信も。
50歳代	モラルの向上を図るための教育。特に小学校等での早期教育が不可欠だと思う。

70歳代	地域活動が活発でパトロール、お助隊、見守りなど色々な活動をしています。これからも必要な事があれば、きっと地域の力で助け合えると思います。
40歳代	アパートなど増え、一人暮らしの若い人が増えた。その人達は町内会も入らず、ゴミの捨て方、捨て場所、分別もしない。マナーが悪すぎる。人としての最低限の事が出来ないのは誰が悪いのか。親が子どもを育てる上で、世間を知らない甘い、しつけの出来ない親のせいなのではないか。相手の事を考えられる人に迷惑をかけないなど、当たり前の事が出来ない人ばかりでは、無理なのではないでしょうか。
60歳代	独居老人の孤独死のない町。楽しく生き切ってもらえる町。その為には、相互理解が必要ですが？
70歳代	暖かい人間味のある町
30歳代	地域活動を区民に積極的に行ってほしいなら、報酬などを支給すべき。(ボランティアでは不公平です!!)
20歳代	地域でもっと(自治会などで)行事を増やす。(年齢など関係なく参加できるもの)
70歳代	老人のこれからの生活が年金+α位で暮せる様、公共の援助をしっかりとお願いしたいです。死ぬまで今住んでいる処ですみつけたいですから。
70歳代	青少年との交流、防犯防災、健康づくり。
60歳代	老人世帯が増えているので、老人クラブ以外のサークルがあったら良い。
70歳代	地域の人々の仲間作り。老人会などに入会しない人が多い。楽しく話し合いの出来る場作りが必要。
60歳代	地域住民の高齢化に対応する為、自治会役員の仕事の軽減、自治会未加入の増加を防ぐためにどうすべきかを検討する段階にきている。
50歳代	マンション建設が増え、少子高齢化が進み、生活形態が変化したことにより町の取組みもかえていかなければならない。その為には、町の高齢者と若い世帯との交流の場をできるだけ多く作る。町内会や町の団体組織のリーダーシップの強化(柔軟性のあるリーダーシップ)が大事、若い人達が地域活動をやってみたいと思わせる場が町内会組織になるとよい。
60歳代	まず、近隣の人達とのあいさつができるようになればよいと思うし心がけたい。
40歳代	子育て中ですが同じ世代の人と子供に対する考えた方が違う。子供だけじゃなく親がウザイとか殺すぞなどの言葉を本気で使ってる事が気になります。
70歳代	みどり税をとるなら樹木をもっと増やせる様計画してほしい。公園をもっと花のある場所にしてほしい。街灯の数をもっとふやして明るい街づくり
60歳代	①警察および地域社会組織(町内会等)の協力による防犯防火活動活発化に伴った犯罪のない町づくり。 ②高齢者が安心して住めるバックアップ体制の充実
30歳代	子供を持つ若い世代が活動出来ると良いと思います。子供を持つ(子育て真っ最中)の親は、コミュニティが広いと思われます。
40歳代	最近、スリや空き巣や変質者が多く出現しているそうなので、警察の見回りもさる事ながら、地域のパトロール団の見回りも必要だと思う。(常に日中位から見回りする。)
50歳代	情報をわかりやすく知らせて下さい。そのために地域の団体をもっと活用しては？訪問医療など在宅ケアが必要な時のサポート&その情報伝達
60歳代	上笹下連合地区で高齢者を支えあうしくみを推進しようのテーマ1部会で「災害時のために要支援者の身分証明書をつくる」に参加しています。しかしスイッチONと云う自治会(町内会)とは別の組織の中へ一人選ばれても十分な活動はできません。自治会が主体性を持って取り組むようでないとうまくいかないし長続きはできないと思います。従って、スイッチONへのメンバーは各自治会の役員(担当)を選出し、スイッチONでの活動を自治会の中でコントロールできるようにしないと有名無実の状態に終始します。
30歳代	若い世代の負担を減らす事。
70歳代	高齢者が多くなっている昨今、近くに生活用品、食糧・その他の買い物にふべんをしている人も多くなると思います。このあたりは建築協定にしばられ、生活がしにくくなっています。なんとか生活のしやすい方向に行かないものか？とあくせくして居ります。
50歳代	・行政は重要な役目があるが、町内会を下請けに使う様な振る舞いはやめてほしい ・基本的にはよくやっていると思う。

60歳代	網の目のように種々の助け合いをサークルや団体の組織が張り巡らされていて、大きな家族のように暮せる町作りそして安心して生を全う出来る終焉の場となれる町であつたらと思う。
50歳代	笑顔でごあいさつ、思いやりの心を忘れない。
40歳代	まずはみんなが協力しなければ…。何でもかかわらないようにしたいという態度が町内会の事でも伝わってくるので。
70歳代	住民の5%程度。年数会の行事に参加。
70歳代	①市バス215系統の路線変更を希望。 現在：新杉田→大谷団地循環→新杉田→車庫 ②変更：磯子→新杉田→大谷団地循環→新杉田郵便局前→車庫前→磯子→車庫 特に母子が保健所に行く時等（子役所等便利に利用出来る）
50歳代	以前、NHKで見たのですが、防犯の為に町中が声を出してあいさつをしていました。知り合いでなくても、あいさつをすれば外部から入るすきがないという事で、犯罪が防げる。確か成果があったと思います。
50歳代	誰もが幸せにくらせるまちは地球を守る事につながっていく方法であってほしいです。便利さの追求はこの辺でよいのではないのでしょうか。小さな事、小さな物、小さな生命を大切におもいやりをもてる感覚を人間は持っているはずなので、その辺を刺激する取組みを考えていただければと思います。
60歳代	介護施設、保育園施設の紹介など（公共施設を含めて）
60歳代	高齢者の急な病に対応する介護認定、ヘルパー派遣は約一ヶ月近くを要する。その間の緊急的支援を地域で相互扶助する仕組みが必要だと思います。
50歳代	自治会同志の連携。小中学校と地域のつながり、職場体験 老人クラブとの遊びなど。
70歳代	基本的には自治会等地域活動の単位の住民の意識を改める事が必要である。しかし昔の〇組のような全員参加意識を醸成することは無理。結局は自治会員のリーダーシップをそれらをサポートする役員の数で外見上の地域活動を盛り上げるしかない。
30歳代	磯子区の地域に暮らす人の年齢性別職業など、どのような分布かを把握して、地域の特徴の理解を深める。その上でどんな年齢層や地域に助けが必要か、支え合いの取り組みが必要かを考えた方が、良い提案がでてくる気がします。今のままだと磯子区の特徴がわからず、取組的が見えません。
60歳代	取組内容は評価・全区民の浸透度に難あり。毎年、町内会の年度始めに民生・児童委員としての自己紹介・規制の説明のついでに「磯子区防災マップ」の認知度紹介をするのですが非常に低い(知らなくともおかしくない皆さんそうですから)で笑いをとるのですが、あらゆる手段で広報しているが関心の度合いが一部の人に限定されての気がする。自治会町内会で何でこれがこうほうされて。
70歳代	上記計画の基本となるものは、先ず隣近所が仲良く暮らしていけるような取り組みです。私たちの町内は15～25世帯位の班に分かれています。各班別に班会(親睦会)を行なうような取り組みが必要かと思えます。(既に実行しているのは一つの班のみ)いろいろな境遇思考の方の集まりですので、簡単ではないと思えますが、今後の課題です。
30歳代	子供が安全に遊べる施設を作ってほしい。児童館のような場所があれば安心だと思う。地区センターのログハウスも利用していますが、自治会館等も使うと良いのではないのでしょうか？退職された方等に昔の遊び等を教えて頂いたりすると、交流もできて良いと思います。
60歳代	ごみ問題…、ごみの集積場がごみ捨て場化し、常時ごみが残っているところがある。
70歳代	自治会役員になってから多くの事を学んだ。現役中は余裕の時間がなく“カミサン”まかせ！
40歳代	・子供が多いのは、幸いですが、道幅がせまく、車道、歩道の区分けがはっきりしていないので危険、道幅を広げてほしい。 ・自分も車の運転しますが、ドライバーのマナーが悪いので再教育が必要では？また自転車に乗る人のマナーも悪い(特に中高年)ので、地域で再教育する必要性を感じます。
50歳代	前回の地域福祉保健計画を立案する3回の会合に参加したが、そのまとめ方が強引で意見が反映されたとおぼえない。次回より民生的にまたテーマはシンプルに。

50歳代	プラスチック回収日をもっとふやしてほしい。
50歳代	杉田は特に高齢化が進んでいるので安心して生活できるようにそのためのボランティア組織を作り無理なく活動できるように取り組めたら良い。
50歳代	助け合うことが必要だと思います。問6のようにできることはありますが、どのようにしてその活動に参加したらよいかわかりません。直接、どなたかに「お手伝いしますよ」とは言いにくいものです。また必要としているものがはっきりわかれば、声もかけやすいのですが…。`手伝って下さい`の掲示板のようなものがあればいいですね。
60歳代	高齢者が増加している中、高齢者が自己研鑽し、それを地域社会に還元する環境づくり。
40歳代	障害児を加えているため、地域活動にはほとんど参加できていません。障害がある人、車イスのお年寄りも外へ出ていかれ、参加できる活動がもっとあればいいと思います。
40歳代	子どもを持つ親として最近の子どもをねらった犯罪に大きな関心があります。私たちが子どもの頃のように、子どもたちだけで公園へ遊びに行ったり、習い事にも一人で行けるような安心で安全なまちになるよう、顔見知りの大人を増やしてお互い、声をかけあえるようになると良いと思っています。
60歳代	取組内容は評価・全区民の浸透度に難あり。毎年、町内会の年度始めに民生・児童委員としての自己紹介・規制の説明のついでに「磯子区防災マップ」の認知度紹介をするのですが非常に低い(知らなくともおかしくない皆さんそうですから)で笑いをとるのですが、あらゆる手段で広報しているが関心の度合いが一部の人に限定されての気がする。自治会町内会で何でこれが広報されているのか、何の為に知っておくべきか何で自己責任において備えが必要か。運営指導という面の会長教育(新会長)が必要。古い会長は逆作用がある。出発点もゴールも自治会町内

問15 磯子区役所の各課や社会福祉協議会が取り組むべき事柄で気づいたこと

70歳代	1 保育所の充実 2. 学童保育所の充実 3. 地上デジタル放送移行に関する対応
50歳代	事務業務がもっと現場に出向き、現況を把握する事
70歳代	大地震などの大災害が発生した場合、現在地域では高齢者が多く防災非難が梅林小学校の高台の為、備蓄してあってもそこまで取りに行かれないと思いますので杉田小学校まで行くか其の外に平地で備蓄庫を置けないか。
30歳代	近所に保育園があるのに満員。そして20人待ち状態。共働きなのでどうしても子供預けなくてはならず、車で30分も離れている保育園に預けている。もっと需要を調べ、対処してほしい。わざわざ車まで使わなければならない、エコではない。
50歳代	ありきたりの対応でなく、心をもって話してほしい。 社協の宣伝もしたほうが良い。
60歳代	老夫婦世帯の取り組みがなされるとよいと思います。ささえあいの活動が聞えて来ないのでどのように対称となる方は、はっきりされていないように思います。
30歳代	子育ての情報、子育て支援をもっと活発にしてほしい。できたら近隣にプレイパークも造ってほしい。
60歳代	区の各課及び職員は、もっと土曜日、日曜日、祭日に、あらゆる事に関して取り組むべき。高齢者に限らず若い人は、土曜日、日曜日、祭日しかあらゆる事に関して取り組めない。その時、区の窓口及び職員がお休みでは一体になって取り組めない。
50歳代	・「まめ通信」のように、とにかく見やすくわかりやすい情報を、こまめにまめに地域に発信してもらいたいと思います。取り組みの趣旨や行事など(たくさんやっても)地域の一人ひとりにその情報が届かないことには何も始まりません。お年寄りでも一目で見て分かるようなチラシを作って、やはり効果的なのは回覧板だと思います。 ・第二期計画の策定の際には、本当の意味でこのプランを理解できるメンバー(専門家なども含め)の登用を多くし、検討して頂きたいと思います。何十年と地域のためにご尽力をつくされている会長や委嘱者などは貴重な存在
60歳代	弱者救済

60歳代	窓口の（区役所等）人間の言葉づかい、態度の改善。
40歳代	ゴミの出し方を徹底させてほしい。守らない人に指導をしてほしい。
70歳代	スイッチONで健康づくり、青少年との交流会、防災部間等、皆さんが参加しています。大変良いことだと思っています。
50歳代	お年寄りの方が1人住まいされている所へは、時々様子を伺ったりして訪問する。何かあったらすぐどこかへ連絡できる様な工夫も必要。
50歳代	区民へのサービス提供内容や支援内容をもっとオープンにして、知らない区民がいけないようなアピールを積極的にしてほしい。（税金を有効に使うためにも）
50歳代	役員をしても分からないことがいっぱい。渋々引き受ける役員ではなく、積極的に参加したくなるような、実生活に役立つ活動の提案をしてもらいたい。
50歳代	上記に書きました事についてのサポートを密接にやって頂けたら幸いです。
60歳代	マンションの自治会加入率が低いので、自治会加入の意義やメリットを説明するようなポスターを含めたキャンペーンをやったらどうか。
70歳代	季節に応じた年間計画、重点行事などを広報し、市民が予め生活スケジュールの組み込めるように工夫して欲しい。リピート行事など選択し易くなり便利になります。5年間の全容など〇〇めPRして頂くと対応に〇となります。
50歳代	私は杉田地区センターを利用する事が多いのですが、各町内会館などでも助成金を利用して、幅広く講師や講演会など企画運営されて下さると、参加も増え地域の興味が増すと思います。
60歳代	他の区と比較して磯子区の対応はとても親切で適確だと思います。
50歳代	誰でも何かの役に立ちたいという思いがあると思う。しかしボランティアをしたいと漠然と思っても、荷や責任が重すぎると感じて、二の足を踏む人がほとんどではないだろうか。手軽に出来る（当日の30分だけとか）ボランティアの活動を出来る限り具体的に示し、初心者でも安心してお手伝いに参加できるようにしてほしい。
70歳代	情報がわかり易く目に入る事（例：文字が小さいので何とか大きくできないか）
70歳代	夜になり1本中の細い道に入ると、街灯が少なく大変暗いのは大変心配が多い。
70歳代	全体的に改善されており、区民の方向に向いてきている。ただし、諸事務が複雑な事もあり、もう少し簡単にしてほしい。
60歳代	問題が起きた時に気軽に相談できる区役所や協議会であってほしいと思います。
30歳代	もっと地域の方と接する機会を増やすと良いと思います。（現状把握する為）
60歳代	気軽に相談できる窓口を作る。
40歳代	子どもと同居出来ない高齢者が入居出来て、本人家族とも安心出来る高額でない施設があると助かります。
70歳代	現状で良い。町を良くするには住民の意識改革が必要。行政指導だけでは目的は果たせられないと思う。
50歳代	ボランティア活動も必要だが、正常勤の職員を十分配属して、住民に行き届くようにしてほしい。
50歳代	愛称のスイッチON磯子とありますが、地区の福祉保健計画だったことは今回初めてはっきりしましたが、まだまだ一人ひとりには内容がわかり合っていないと思います。もっと「福祉」「保健」をはっきり前に出してアピールしてほしいと思います。スイッチONは分かりにくい。
60歳代	優しさが報われる社会作り。
40歳代	母子家庭の市営の家賃や保育園料金など、嘘をついて得をしている人が多すぎる。生活保護にしてもそうだ。もっと良く調べて、本当に援助が必要な家庭なのか確認して欲しい。税金も払わず、ただで家に住み保育園に子どもを入れ、バイト代は申告せず、正直者がバカを見ている。調査に力を入れて欲しい。
60歳代	高福祉には高負担という事の理解を求める時期では？区民を幸せにする行政を、自信を持って進めて下さい。
30歳代	公僕としての自覚を持って、対応すべきです!!
70歳代	何か用事があって電話をしても「ちょっとお待ち下さい・・・」と電話をたらい廻しされる事が多いです。必要以上のバカていねいな対応（言葉だけ？）はいりません。
40歳代	危険の道路対策（通学、避難所周辺）
70歳代	行政の出前活動

70歳代	老人会で健康体操をやっていましたが、自分たちで自己流にやっていましたが誰も来なくなりしました。今度指導者にお願いして来てもらっています。クラブでお金を出し合っ て先生に謝礼をしています、区で少し補助をして頂くと助かりますが。
60歳代	公報配布を自治会に委託するのではなく、新聞のチラシに入れる等考えて欲しい。
50歳代	若いお母さんが子育てしやすいまち道路づくり、また高齢者が安心して喜んで外に出たいと思わせる道づくりを町内会の組織と一緒に、取組みの第1に推し進めてもらいたい。
70歳代	昔に比べて区役所の職員、町に出ないのではないかな。机上の計画。パソコンに向かう、確かに情報はしっかりしていると思う。しかし、それ以下の部分は自治会町内会、地域活動の部分に頼りすぎているように思える。書類、立派な冊子類の発行が多すぎる。
60歳代	・子育て支援 ・老人のデイサービスに比べ、学童保育の劣悪さに驚いています。これからのある人にこそ厚いサービスを。
70歳代	介護職員の待遇改善（現在では生活出来ないほど低水準！）と増員対策の推進（近々、高齢化社会化なのに大変不安問題）（国に対して強力にアピールが欲しい。）
70歳代	公会堂の利用料金をもっと安くして欲しい。コピー機の間所を何カ所か増やして欲しい
60歳代	・メタボだけでない健康診断の充実
30歳代	地域で子供を守る体制、働く母親を助けられる体制（パートや内職のあっせん）を、地域内でできる事が理想です。若い世代と年配世代のギブ&テイクできる体制をとる事で地域間の関係を深め、安全くらしへつなぐと考えます。
50歳代	高齢化にむけて在宅のバリアフリー相談や、事例の紹介があるとよいのですが。「ついのすみか」としての地域でありたいので。
50歳代	・課員はこちらに出むいてこなればいけない。 ・基本的にはよくやっていると思う。
60歳代	介護保険は自分が病気・身体が不自由になった時、自分自身の援助は大部ととのってきているようですが、ただ老いてきた時（だけの時）自由に使えるようになってきたら、と思う。たとえば少しだけ家事援助、話し相手、買い物等。でもこれは老人会や友愛さんのグループがあるではないか…。でも知人や近所の方でない方をお願いしたい。
70歳代	自治会、民生、保健活動等、役員の重複を避け、なるべく公募、継続（何期）を短く。住民の参加、感心意識の喚起。
70歳代	③市バスの新路線の提案 新杉田→坪呑中央→向坂→上中里町→上中里フジスーパー前→NTT住宅前→消防署前→杉田台自治館→杉田台中→杉田台下→上中里町→向坂→坪呑中央→新杉田（老人パス利用者増加の為） ③メールド地区（125）バス路線没線に住む者にはこれ以上バスの本数を絶対増やして欲しくない。
70歳代	出前講座や皆で歌おうなど、継続的（年に数回）に開催できるような仕組みを作ったかどうか。その際ペットボトルのお茶（そこ）や少量のお菓子などが用意できると思います。
50歳代	50歳代の主婦ですが、子どもふたりは成人しました。主人の両親と同居です。地域のために役立ちたいというよりもまずはご迷惑を掛けないようにとの思いが先立ちます。町内会の集まりに参加しても老齢化が目立ちます。前進していくためには4、50代の男女のパワーが必要だと思いました。
60歳代	上記の仕組みづくりを支援したり、モデルを示して地区指定をするようなことが必要と思います。
70歳代	区役所、協議会は目標を設定し、地域に丸投げしすぎる。もう少し人員を派遣し、一緒に作っていかねばならない。その為には派遣員の品の向上が求められる。 一方、地域への助成金は地域活動助成金を削減し（中田市政は）取り組みだけをヨイショヨイショとかけ声のみである。大きな地域（例えば自治会）は会員の会費で潤っているが、小単位の自治会では活動が制限される。 中田市政はY150の活動のために資金を吸い上げているとしか思えない。

50歳代	世間で言われてしまっているような「待ち」のお役所仕事ではなく、届けでのない人達に「忘れてませんか？」の心のこもった一声を。 磯子は人にやさしい弱者にやさしい街づくりをお願いします。
70歳代	スイッチON磯子の名前は広報横浜のいそご版に訳されていたので、以前から気には止めていました。(誰もが幸せにくらせる町)すばらしいタイトルです。広報等を最大限利用して大いにアピールして下さい。我々生活に直結する情報を期待しています。
50歳代	ごみのないきれいな町。緑の多い町、歩きやすい町。ごみすて場のカラスの対策。杉田6丁目あたりのごみすて場がきたない。(ピザラの近く)
60歳代	役所という場から外へ出ていくことで、もっとPRができると思います。地域活動にしても区役所まで出向かせるのではなく、役所の方が出向くのはどうでしょう。例えば問5や問6の問題をかかえている人がわざわざ区役所へ出向くことはないでしょう。
70歳代	現役引退直後、ボランティアに意欲を持って磯子センターにも行ったが対応が悪く(技術知識が生かされない)失望しやめた!
60歳代	民活(?)も結構だが、行政はプロなのでから、しっかり仕事をしてほしい。終業時間までただもくもくと時間をつぶす旧態依然として光景を未だに目にする。忙しい部署の手伝いがなぜできないのか。福祉の専門職はさらにひどい。社協についてはよくわかりません。
50歳代	区役所にいる案内人は良人内容を理解している人を配置してほしい。券と取って待たされて、窓口で話を聞いて時間をかけ「〇〇不足だから説明書は発灯できない」となるとは、なんのための案内人か。案内人が「〇〇不足です」と言ってくれば、すぐ帰れる用意できたのに…よろしく!
60歳代	高齢者施設(扶養を含めた)の紹介、入所に伴う諸条件の紹介等、詳しい情報提供。
60歳代	区役所、総務課、社協は事務向きをお願いしている。両方共にやってくれてると思う。 1. 担当者が変わったら対応、支援、協力の度合いが違う事の無いようにお願いしたい。 2. 情報の提供、各団体のつなぎ役、その団体に良かれと思う情報は積極的に出して欲しい。聞かなきゃ言わないでは淋しいね。 3. 防災拠点(地域)運営委員会は総じて問題があり、もちろん熱心に展開しているところもあり、温度差がある。昨年より総務課の指導もあり、少しずつであるが前進している。まずは運営委員長に刺激、他地域他区の情報を意識的に流す、講演会の開
50歳代	区役所へ介護の事で伺うと、窓口で1~2人しかおらず手ぶらでブラブラしている人が(役所の人)多いのに対応していない。民間なら、列に並んでいる人に聞取り、窓口を増やしたり、引き継いでスムーズに事をこなしていると思う。

問16 あなたの町で、こんな取組みがあったらいいと思うこと

50歳代	誰でもあいさつ、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」という声をだす。大人から小人まで皆で声をかけ合う。
30歳代	共働きの家族のために、小さな子供の迎え、サービス。
50歳代	よろず相談屋さんがあればいいかな
30歳代	小学生が安心して放課後を過ごせる居場所造り
60歳代	公共の施設を週に一度無料使用にするとか(スポーツ施設・つりのための海釣り施設・映画上映・演劇鑑賞など…)年寄りが家に閉じこもる事がないように。
70歳代	①区役所にバス一本で行きたいが、293系統が減って困っている。 ②磯子駅の区役所寄りに出口改札がほしい。直結の陸橋ができれば素晴らしい!区全体で連動してほしい。
60歳代	高齢になって移り住んだ磯子で同じ境遇の人が集まる場所がほしい。 どこえ参加しても高齢になると仲間が出来てしまい入りにくい。
60歳代	市役所などにある無料で弁護士、司法書士、税関係、医療系が相談できる窓口が、月に1~2回でも近くで気軽に相談できればお年寄りや1人で悩んでいる方に解決の糸口が見えてきて良いことだと思いますが。

50歳代	各年代層における問題点を徹底研究し、その部分を改善していく中で、自分達が取り組めそうなテーマを割り出していく。前向きに考えようとしたのですが、この不況、リストラ、年金、政治不信など、子育て中の若者の老後のみんなの生活レベルが、ある程度安定していることが前提でなければ、このテーマを遂行していくことはとても難しいと思いました。「幸せ」とてもいい言葉ですが、定義（規定）することは大変。（何をもちて幸せとするのか）、そして私にはとても提案まで到達することは出来ませんが、単純に考えれば「年齢を超えたみんなの交流会」
50歳代	町並みを美しくするために、植木や草花購入に補助を出している自治体があると聞きました。大きな道路の街路樹など、足下が雑草でぼうぼうだったり、ゴミだらけだったり。これが美しくなれば町全体のイメージもUPすると思います。
50歳代	地域で特技などを持っている人が、学校の先生の補助のような形で活躍できる場を設ける。（退職して時間がある人）
40歳代	年配の人が一生懸命地域のために活動してくれているので、若い人達に伝え積極的に参加できるまちづくりをしてほしい。私が自治会等に関わり感じることは、皆無関心で人任せすぎだということです。
30歳代	子供会と老人会と一緒に活動する事。
70歳代	ギターの生演奏で昔の童謡、叙情歌をみんなで一緒に歌う行事を致しました。大変高齢者が集まって喜ばれました。また企画してみようかとも考えています。
50歳代	いろいろ行事がありますが、広い範囲なのでつい参加しません。もっと身近な地域で演劇会（落語とか）催されたら出かけやすい。
50歳代	道路（公道）に面する部分の雑草駆除を月1回でも地域全員参加で行ったら、近所付き合いも家族ぐるみで分かるようになり、挨拶も自然になりそう。
70歳代	パソコンの講習、メカに弱い高齢者のために習得の機会を。太極拳は自治会で交わる機会がほしい。ゴキブリ団子作り（古い団地ですので、グループ分けしてみんなで作れば効果的ではないかと思ひます。）
70歳代	・老人会の会合 ・各組で隣組でいろいろな話し合いがあったら。
70歳代	今の所、夫婦元気で生活しています。家の前の道路が狭いので、自転車、車の台数が多いので、外出の時は特に注意しながら歩いています。それでもひやっとする事が多くあります。道路の譲り合い、又こちらが道を譲った時に「ありがとう」とか微笑んで下さるとなぜか安心します。好意に対して素直に対応できるように、私も心掛けていくつもりです。
70歳代	上からの指導ではなく自然に仲間が新しい人も受け入れる仲間作りの集まりが定期的であればよい。
60歳代	高齢者や若い母親達を対象にした講演会や講座を地区センターで実施して頂けるとありがたいと思ひます。
70歳代	俳句教室があったら、昔の文学少女が沢山居られるのではないのでしょうか。
70歳代	・名所・史跡巡りの日帰りバス旅行。 ・やめて欲しい取り組み：年4～5回に及ぶ募金活動（地域班長の負担が大きい）町内会回覧 ・毎年リピートされる行事、防災訓練など行政に一考願ひたい。1月の寒い時期（数年毎で良い）
50歳代	保育園、学校、老人会などで合同の一日町を楽しむスタンプラリーなど。（ケアセンターやデイサービスの方達も含めて）
60歳代	町内でのお祭り
60歳代	年に一度位の近くでいいので、子供達と日帰りバスツアーなどすると長い時間を過ごす事が出来るので、町内会の人達と仲良く出来、又良い町になるんではないかと思ひます。
60歳代	地域ではいろいろな事に取り組んでいるので、今のままで良いと思ひます。
60歳代	カラス対策で現在町内会よりブルーのネット使用してますが、区の方よりボックス型のゴミ箱を支給していただきたいと思ひます。
30歳代	高齢化社会なので定年された方など、子供達とかかわりを持ってもらう一歩として、朝など登校時など交通安全の為にも声掛けをして欲しい。

50歳代	私は歩くのが大好きです。でもこの町の事はあまり知りません。いつも同じ道を歩きます。ですので、身近に「こんな良い所、おいしい所、楽しい所があります」などのミニ情報があれば良いと思います。月に1、2回程の歩けみたいな会があれば、是非参加してみたいと思います。
70歳代	昔に比べ地区センター等が出来たので、これをどの様に利用するべきかと考えている。
60歳代	自由に語り合いの出来る会場があったらと思います。
50歳代	何処の公園に行っても何時からはラジオ体操が行われ自由に参加出来る。（その日の気分で何処に行っても可）（血圧の高いお年寄りや、朝、冬等危険なのが欠点）音楽が流れば庭や家の中でも出来るけど。
30歳代	自然が増えるような取組み（まちにグリーンを増やす）。一般家庭でもできるようなエコ活動（何から始めたら良いのか分からないから、情報をくれる場があると良いと思う）。
70歳代	弱者への救援体制（特に非常時対応）
70歳代	歩行者の安全を考えると、車の通行方法に危険を感じる。
30歳代	地域の小中学校の子どもがお年寄りのお宅を訪問し、お手伝いする。（ゴミ出し、掃除など）
70歳代	毎月に1回位の町内役員
60歳代	年代別に食事会等があれば親しみが自然に出来ると思う。
40歳代	問15と同じです。
70歳代	自治会活動や公園清掃、パトロール等、殆どボランティア活動が行っている。
50歳代	町民同士のつながりが年々薄れているように思います。ゆとりの時間や行事を楽に出来ると良いと思います。
60歳代	年代別の意見を取入れた町づくり。
60歳代	不愉快な思いをせずに、一日を過ごせる町。（いつもきれいに片付いているゴミ集積場など出来る事から始めよう）
70歳代	自治会館がほしい。又たくさんの方が集まれる場所がない。
30歳代	道路（歩行者の為の）の整備
50歳代	災害時の避難訓練（とりあえず避難所へ行ってみるだけでも良いので）本当にキャパがあるのかという状態になるのか、確認する必要があると思う。
60歳代	手とり足とりの企画が多すぎると思います。予算を決めて（申請、検討を加えて）自由にこうどうできる企画募集があったら良いと思います（やりがい）
60歳代	今いろんな所をやっているのでも今のままでいいと思います。
60歳代	空き店舗や空き住宅を借り上げて喫茶サロンを住宅地内に設ける、軽食、コーヒーetcを低価格で提供する。自治会館は敷居が高いと考える高齢者の憩いの場となるのではと考えます。
50歳代	町内会各地のごみ処理問題を高齢者、弱者の立場から柔軟性の持った取り決めをしてほしい。（極端に言えば、家の前までとりにゆくとか）
70歳代	子供達のためにログハウスを沢山作ってほしい。洋光台だけでは少ない。
40歳代	子供が安心して自由に遊べる場（不審者が多いので）が欲しいと思っておりますが、時々公園などで昔の遊び（ゴムだん？遊びやメンコ、けんけんパーなど）を年配の方達と子どもができるといいなと思います。
70歳代	道路幅が昔のままでせまく危険な場所が多い。一方通行に出来ないものかな？
30歳代	核家族が増えているので、たてのつながりを深める交流。定年や年配者は子供や地域のために活動して欲しい。例えば書道の先生、学校の先生などが半ボランティア（低価格）の寺子屋の様な教育を開くetc…
40歳代	犬を飼っている人が多いので、日中から犬のお散歩がてら、町内の見回りパトロールをするのはいかがでしょうか？（たすきをつけるとか…見回りパトロール中のネームをいれて）
50歳代	パソコン出張講座（レベル別で）
50歳代	住民による公開講座など
50歳代	お花がいっぱい咲いている街並み、町全体で緑をいっぱい育てる。ところどころにベンチがあって。お年寄りの人や子連れの人にも生まれる。町全体が公園のような。
70歳代	ミニデイサービスを月1回受けているが、登録者が常時昼食できれば助かる。（学校給食のように）

70歳代	④125地区の住民が高齢化し、かつ病を持つ人、介護をしなくてはならない人が自治会の仕事を受けるのは大変な状況にあります。今後益々増えるでしょう。どうぞ区としてはスローライフをめざし大きな行事より身近な困っている人に手をさしのべる、きめこまかな活動が望まれる。
70歳代	未だ平日に仕事してるので中々土・日の行事に参加できません。
50歳代	花火をどこで許可されてるのか？（特に打ち上げ花火）公園禁止、海（浜辺）禁止とか…。 質問されても答える事ができません。許可されてる場所を指定してほしい。
70歳代	特にありません。スイッチオンの若者とのふれあい。一見いい目標であるが、これは家庭・学校・地域の行政が取り組むべき問題で自治会等地域の下部組織が活性化していない状況では、実践的なものは何も出来ない。
60歳代	私たちの自治会には会館がないため、中々自治会の皆さんとふれあいの場が少ないことで悩んでいます。
50歳代	もう遅いのですが、給付金特別に必要としなかった方々から老人施設なり福祉施設なり学童保育なり希望の場所へ寄付をつのり一つでもいい何か磯子区民は協力しあい、こんなものを作りましたと、結果を残してほしかったです。漠然とした寄付募集ではなく、次回は…。
60歳代	青年部の活動が必要。○町会が高齢化が進み、次の時代をまかせる人が不足。
60歳代	自然体でおはよう、こんにちは、ありがとうという言葉が気軽に出るような町風が出来上がる様な雰囲気町造りが出来ればと思います。争い、ごまかしは自然なくなると思います。
60歳代	捨てネコの不妊を自治会で協力して欲しい。
70歳代	一人暮らしや、老夫婦を対象とした傾聴ボランティア
30歳代	夕焼けチャイムをぜひお願いしたいです。
60歳代	いま人々が必ず出向く場所はスーパーです。幸いスーパーの前や商店街には人の集まるスペースがあります。ここを利用しない事はありません。問5のような手助けが欲しい人、問6のようなボランティアをお願いします。そのようなPRをスーパーの前のような場所である程度定期的に行ってみるのはとても有効だと思います。
40歳代	お年寄りに町の昔話や、昔遊びを聞ける場（子供達が定期的に）が身近にあると、とても良い（地域センターよりは町内会館とかそういった場で、あるいはお年寄りのお宅におじゃまして。）と思います。
50歳代	ちょっとしたことができる人とちょっとしたことをやってもらいたい人をつなげる。有償のボランティア組織。
50歳代	年に1回か2年に1回は各家庭で必ずゴミ焼却場の工場見学。（ゴミの出し方が変わってくるのではないか。）10年に1回でもいいや。
50歳代	子育て支援と高齢者・障害者福祉の受け皿に尽きると思います。
60歳代	我が町内会の自慢を一つ提案し、それを町内会全体で取り組む活動。
40歳代	近所の方と交流が持てるような集まりがあると良いと思います。
60歳代	・皆さん頑張ってますね。 ・現役の時は感心なかったが（感心をもつゆとりもなかったが）感服しています。
50歳代	地域で支えあえる、良いことですね。なかなか踏み込めず、踏み込まれたくないという気持ちが乗り越えられたら良いですね。